

FRaU

フラウ
特別定価
3/11
470 YEN

とじ込みブック
毎日が情報

2月25日▶3月10日
情報カレンダー

MARCH 1997 No. 133

フラウ 3月11日号 第7巻第5号 毎月2回発行(第4号隔日発行) 平成4年10月1日創刊 編集所: 東京都千代田区千代田1-1-1 編集長: 藤原美智子

春メイクと
化粧品
ベストメイクとベストコスメ
あなたにこの他の選択はない

特別企画
エイジ25からの大問題
あなたは
年齢を
誤解して
いないか!

「変身の化粧」
藤原美智子の方法
ブランド別
春の春色決勝戦
時代遅れの肌にならない
ファンデーション
リップとネイル、
美貌の色カタログ

お口の中の環境問題。

歯のホームドクターを持つ。

おばあちゃんになっても、変わらぬ笑顔をキープするために、歯医者さんとのつき合い方をお教えします。

私は、両親がデンタルケアに熱心だったため、子供のころから歯のチェックをすることに何の抵抗もありませんでした。私にとって歯医者さんは、美容院のようであり、体調を整えるところでもあるのです。

今でも、水曜日は銀座の染谷先生に検診と歯石除去、土曜日には五反田の小坂先生に矯正、とその道の専門の先生、大病院に足繁く通っています。

さて、今日ご紹介するのは、21世紀対応型医療、歯をトータルに診ていただける協立歯科です。

ここでは診察窓口を変えずに、予防、歯周病、矯正、ラミネートベニヤ法と、同じ椅子に座ったまま診てもらえるのです。それはとても便利と思われるでしょうが、それだけではありません。

注目すべきは、診察そのもののあり方を見つめ直す予防審美歯科という新しいコンセプト。その人が本来持っている美しさを、口もとを整えることよって引き出し、身心共に健康な状態を創造する。患者に便利だからひとつの椅子という発想ではなく、総合的に治療し美しくするためにはそれが不可欠、大前提のスタイルなのです。とても納得できる、私たちに

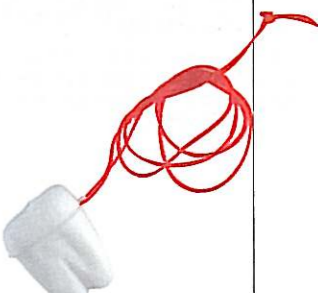
は嬉しい考え方だと思いませんか？

積極的に美しさを求める女優さんたちが来思するのもうなすけます。また逆に、その場しのぎでちゃんと治療しなかったことを後悔し、懺悔の気持ちで駆け込んでくる人も多いそうです。

あなたの歯茎は、美しいコーラルピンク色ですか？ キレイになることに積極的にコスメに詳しくても、歯のホームドクターを持っていないければ、本物とはいきません。歯がくすんでいる、生まれつき黄色い、黒ずんでいる、すき間があいている、形やバランスが悪いとお悩みのアナタ。協立歯科のラミネートベニヤ法は、朗報です。

差し歯をしたり、ただ白くするのはありません。歯の表面に1層だけ(0.3~0.5mm)削り、薄いセラミックのセルを貼りつけるのです。天然の歯の透明感が失われずとても自然です。しかも、その人の個性(肌の色、輪郭、身長、目、鼻、口元とのバランス)にあった歯の色、形態をコンピュータで割り出してもらえます。

歯のメンテナンスの理想とは、いったいどんなものなのでしょう。まずプロのアドバイスを受け、歯茎のケアを自分でできるようにする。そしてプロの手で定期的にお口の清掃をしてもらう。つまりクリーニングがいつもなされていく状態を保つことが基本です。



私、泰が15歳から通っている小坂矯正歯科には、役に立ち、かつ面白グッズが一杯で、辛い治療もなんのその。先生とも親戚のおじさま感覚のおつきあい。小坂矯正歯科 03-3449-0541

EXHIBITION

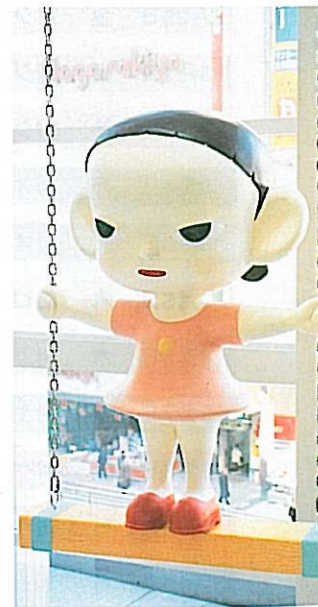
期待の若手アーティスト奈良美智。ドイツ、ケルンからのメッセージ。



奈良美智パネル展
奈良美智が初めて手がけたパブリックアート作品「World is Yours」が身近に体験できる。会場・横浜 京急線上大岡駅「ウイング上大岡」2Fセンターコート 会期・2月22日(土)~3月14日(金) 10:00~20:00 無休



記念の限定ピンバッジ「Lucyバッジ」を20個限定でプレゼント。希望者はFRU編集部「サヴァビアン」奈良美智バッジ係まで。

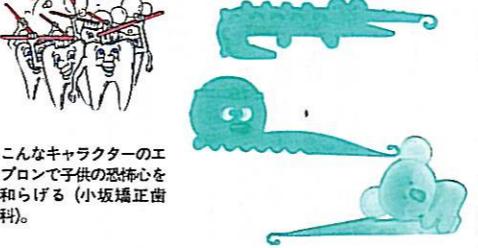


ホームケアももちろん大切ですが、やっぱりプロの先生の診察や衛生士さんの指導が欠かせません。これで初めて自分の歯と一生つきあっているのです。これは、美しくするための習慣の第一歩と考えましょう。

お部屋のインテリアはパッチリだけど、歯のレイアウトはぐちゃぐちゃなんて、カッコ悪い。口の中の環境作りにも気を使わなければ、自己流美容学をクオリティアップしたいのなら、良いコミュニケーションのとりえるホームドクターを持つことをおすすめします。差し歯の歯茎は必ず黒くなる、歯をとったら入れ歯は当然、一度終わった治療がどーしても気に入らないと思っているアナタ、生活習慣とメンテナンスをもう一度見直してみてください。

文 二奈麻理子

矯正のブラケットに輪ゴムを渡すグッズたち (小坂矯正歯科)



こんなキャラクターのエプロンで子供の恐怖心を和らげる (小坂矯正歯科)



「子供の頃は、ブランコに座ってゆつくりと足を振りながら、このまま眠れたらいいなと思ってた。目を閉じて耳を澄ますと、鳥の声や子供たちの声が近づいたり離れたりするの面白くて、このまま眠ったらきっと空に飛んで行けるんだと思えた。そして一番上に振られたところで、ぱっと目を開けると、空だけが広がって、もう一度まばたきすれば、今度は地面が見える。どっちにしても、空を飛んでいるみたいで夢みたいだった。

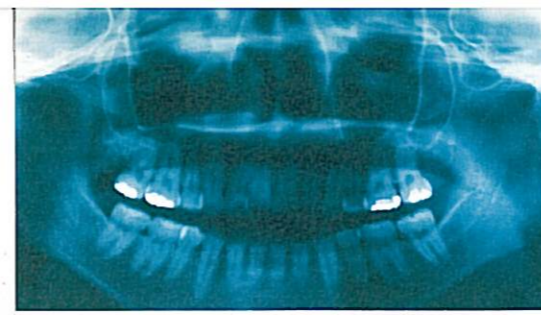
高校の頃、そのブランコは、ガールフレンドと僕の指定席になった。今度はただただ座ってただけだったけど、子供の頃より楽しい時間を感じた。座りながら少しゆすれば、言葉がたたく口から出てきて、そこはベンチや喫茶店のイスよりずっと居心地が良かったし、なにより星空がきれいだった。

高校を出てから、ブランコは僕

に忘れられていったけど、パブリックアートの話があった時、僕は単純にあの公園というパブリックな場所にあったブランコを思い出していた。いろんな案が浮かんだけど、結局ブランコをメインに作ることにした。そして出来たブランコには、2メートル以上もある頭でっかちの女の子が乗っている。そして、十代の頃の僕のように、少し怒った顔をして通りすぎる人々を見つめている。」

奈良美智

1959年青森県弘前市生まれ、ケルン在住。ドイツを中心にヨーロッパ、アメリカ、日本で活躍。彼の描く子供の表情は世界の美術愛好家に知られている。今年、初のCD付き絵本「ともだちがこいぬ」出版予定。



治療が一段落するとこんな記念のファイルが用意されている恵比寿の医療法人・協立歯科は、アメリカ審美歯科学会認定。協立歯科 03-3770-5515